

【西区】平成 29 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 29 年 2 月 7 日 15 時 25 分 ～ 17 時 00 分
場 所	西区役所 4 階 4 A 会議室
出席者	<p>【座長】清水富雄議員</p> <p>【議員：2 名】清水富雄議員、上野盛郎議員</p> <p>【西区：14 名】吉泉英紀区長、成田禎副区長、中嶋俊明消防署長、佐藤眞理代福祉保健センター長、平本雅典福祉保健センター担当部長、井上幸一土木事務所長、ほか関係職員</p> <p>【局説明員：2 名】文化観光局名倉直アジア開発銀行年次総会担当部長、医療局病院経営本部肥田雄三再整備担当課長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 29 年度 西区編成予算（案）について</p> <p>2 平成 29 年度 西区編成予算（案）主要事業説明</p> <p>3 その他</p>
発言の 要 旨	<p>【平成 29 年度 西区編成予算（案）について】</p> <p>【平成 29 年度 西区編成予算（案）主要事業説明】</p> <p>上野議員：食中毒・感染症予防対策事業だが、放課後児童クラブやキッズクラブで衛生上の問題が最近あったのか。</p> <p>佐藤生活衛生課長：特に衛生上の問題があったわけではない。子どもを対象に食の安全講習会を行うことによって、家庭への波及効果や、区全体の食中毒予防啓発につながるため、対象を放課後児童クラブや放課後キッズクラブの児童にしている。</p> <p>上野議員：食の安全講習会の回数を増やした理由はあるか。</p> <p>佐藤生活衛生課長：今年度 2 回実施し、大変好評だった。是非またやってほしいという要望を受け、拡充した。</p> <p>上野議員：子ども達にこういうことを発信していくのは良いこと。ところで、ネズミが多くなっているという話があがっているのか。</p> <p>佐藤生活衛生課長：ネズミの相談は年々増えていて、27 年度に、市内では 83 件の相談があった。特に大きなビルに関しては、施設調査を実施した。40 施設調査したところ、6 施設でネズミの生息があった。特に大きなビルでは、利用者からネズミを見かけたという苦情が入っているという話も聞いているので、来年度実態調査をしたうえで防護啓発を行っていきたい。</p>

上野議員：私も同様に感じる人が多い。ゴキブリも目につくようになってきたと感じる。ネズミやゴキブリなどの害虫は、本当に問題化した時に食い止めるのは非常に困難だと思うので、実態調査をやって、西区の問題として着目してみても良いのではないかと思う。

清水議員：8ページ「障害のある人も住みやすいまちづくり事業」に関係するかと思うが、障害者支援として、車いすを乗せることができる、ハンディキャブという車を、市内全体で2台、貸し出しできる制度があると聞いた。車いすの方が車に乗ってどこかへ出かける際には、移動サービスやタクシーという手段があるが、それとは別に、車自体を貸し出すという制度らしいが、西区ではどうか。

内山高齢・障害支援課長：西区役所窓口でハンディキャブを借りたいという話を受けたことはない。

清水議員：11ページの感震ブレーカー簡易タイプ設置促進補助だが、地震の際に電気供給を遮断することによる問題もあると思うが、どうか。

早川総務課長：夜間に地震があった時に、電気供給を遮断すると真っ暗になって危険という意見や、復電の際の火災もあったので、補助の際には、自治会単位で研修を行い、周知している。

清水議員：二次災害につながる恐れもあるので、感震ブレーカーの使い方については、説明をしっかりやってほしい。15ページ「窓口混雑状況見える化事業」の待ち時間の話だが、民間の店舗で導入されているものに似ているのか。

下村戸籍課長：待ち時間のおおよその目安が分かるので、その場を離れて待つことが可能。

清水議員：長時間その場で待つのではなく、離れて待つことが可能ということは良い。

上野議員：13ページ「地域資源を活用したまちの回遊性向上事業」だが、案内サインやまち歩きアプリについて、市民などの利用状況はどうか。

鈴木区政推進課長：まち歩きアプリについては、1月20日現在1,170名の方に登録していただいている。11月6日から12月25日まで、アプリを活用したキャンペーンを行った。参加人数は、延人数2,245人で、多くの方に利用していただいた。これで終了ではなく、さらに利用してもらえるものにしていきたい。案内サインについては、来年度も設置する予定だが、今年度設置したサインを使ったイベントを来年度行い、その先のことも検討していきたいと考えている。

上野議員：まち歩きアプリや案内サイン、西区のスポットを巡るツアー等は、対象者をはっきり定めて発信していかないと、効果が出づらい。努力をしているということは重々承知しているが、今まで行政がやってきたようなやり方を少しずつでも変えていかないといけない。例えば、広報よこはまに載せたから情報を発信したというのではなく、どうやったら住民の方に伝わっていくか、どういった広報手段を使うべきか、ということを改めて考えてみてみてもいいのではないか

と感じている。

清水議員：関連になると思うが、14ページ「西区商店街活性化事業」で、今質問のあったアプリ等IT系のツールとは別に、商店街についての冊子を作った。その冊子を見て商店に行ったという方もいる。我々も広報活動でビラ配りをすることがあるが、そういうやり方とITを活用するやり方の双方ができるといい。また、今後も区民にとって良いものを作っていただきたい。

【その他・西区案件】

上野議員：開発動向の⑬MICE施設の住民説明会が1月に終わったが、西区は出席したのか。また、様子はどうだったのか。

鈴木区政推進課長：出席した者の報告と文化観光局の資料によると、緊急輸送路を廃止することについて反対する意見が出ている。

上野議員：西区役所も、丁寧に理解が進むような対応をしてほしい。

③横浜駅西口エキサイトについては、まだ周知ができていないと思う。鶴屋地区で店舗を経営している方は、このまま営業をやり続けていけると思っている人もいる。さらに周知をしていく必要があるのではないか。

⑤みなとみらい本町小学校についても周知が足りない。引き続き、特に子育て世代、これから子育てを予定している方々に情報を届けていく必要がある。自ら行政に情報を取りに行かない住民にも情報を伝えてほしい。

また、18ページ横浜駅みなみ西口の環境改善について、喫煙所の周辺はきれいになったが、カウントダウンボードの周りの花壇にごみが置かれていることもあり、対応が必要だと考えている。

清水議員：18ページ横浜駅みなみ西口の環境改善について、資源循環局の巡回指導は厳しく行ってきれいになっているが、なかなかマナーの徹底は難しい。かつて西口周辺のタバコの吸い殻の数を西区役所でカウントしたこともあったが、そのくらいの気持ちがないと、汚れてしまう。監視員だけに任せるのではなく、区局で協力してほしい。

21ページ④横浜駅東口の中央郵便局を中心にステーションオアシス協議会はまだまだ検討を進めているということか。郵便局は閉鎖しはじめたようだが、具体的なことはまだか。

鈴木区政推進課長：平成29年度の都市計画決定を目指して検討していると聞いている。

清水議員：⑥京浜急行電鉄の本社が移転してくるということだが、西区は戸部、御所山、日ノ出町に至るまで京浜急行が走っているから京浜急行のまちでもある。これからも協力関係が出てくると思う。

⑦資生堂は港北区(新横浜)にあるものが、全部移転してくるのか。

鈴木区政推進課長：資生堂については、高さが78mで地上16階の建物ができる

ので、多くの設備や研究員等が移転してくると思われる。

【その他・医療局案件】

上野議員：2020年開院予定ということは、オリンピックの年だが、オリンピックの対応をするのか。

肥田再整備担当課長：オリンピックの対応は直接ないが、順調に工事や手続きが進めば、2020年5月に引越しができないか考えている。

清水議員：今の病院の跡地に野球場を作るのは可能なのか。

肥田再整備担当課長：硬式野球は難しいが、軟式野球やソフトボールなど今の野球場と同じ機能を継続していきたい。

清水議員：宮ヶ谷から上がってくる細い道の近隣の方が、交通量を心配しているので丁寧な対応をしてほしい。病院前の道路が三車線になることは、良い。

肥田再整備担当課長：宮ヶ谷からの細い道の件は了解した。

病院前の、「三ツ沢公園前」交差点手前道路については、右折車線が短いため、交差点に出る車ははけないことが渋滞の原因。そのため、三車線の右折車線を長くする。

【その他・文化観光局案件】

清水議員：第50回ということだが、前回まではどこで開催されたのか。

名倉アジア開発銀行年次総会担当部長：1966年に設立してから50年の歴史があり、東京で最初の総会を開いているが、10年おきに日本で開催され大阪、福岡、京都で50回目が横浜。それ以外の年は、67の加盟国・地域のどちらかで開催されている。

前回の第49回はフランクフルトで開催された。

清水議員：アフリカ開発会議は、横浜に頻繁にきているが、違いは何か。

名倉アジア開発銀行年次総会担当部長：アジア開発銀行年次総会は、できるだけ各加盟国で均等に年次総会をやろうとしているが、節目は、設立時から中心になっている日本が10年単位で開催している。一方アフリカ開発会議は日本開催が基本だったが、3年おきに日本とアフリカでという約束となった。今度の2019年は日本開催なので、横浜市としても手を挙げている。その3年後の2022年はアフリカで開催されるということで交互に開催。

上野議員：こういった大きな会議は西区内で行われているが、西区の住民の方々には特にメリットがない。例えば、ADBは、アジアの中心リーダーとして経済や社会課題をも解決していこうと、日本が、リーダーシップをとっていく大義があるので、この機会に子どもや青少年のみならず大人にも関心を持ってもらうということが非常に重要と思う。そういった機会提供を、西区内で何か考えていないか。

名倉アジア開発銀行年次総会担当部長：今回のADBの総会の周知がやや不足していると反省している。その中で企業向けには、それぞれセミナーを横浜銀行と一緒に取り組んでいる。小中学生だけではなくて高校生、大学生に対してADBの駐日代表やエコノミストが出張して

	<p>横浜開催の意義であるとか、これから国際機関で働きたいという学生に向けての応援のメッセージに取り組んでいる。今後もADB総裁が3月末に来日する予定で、会場は横浜銀行になると思うがセミナーを開催予定。それには誰でも参加できる。それも含め広報で市民参加の特集をしていく予定。引き続きあと3か月あるので周知徹底していきたい。また開催地の西区への対応は、頂いた宿題として次回のアフリカ開発会議等の時に参考にさせていただきたい。</p>
備 考	